

# 2017年3月期決算説明会

項目	スピーカー
(事務局から)	司会者
1.はじめに	代表取締役副社長 嘉戸 廣之
2.17.3期決算概要・18.3期業績予想について	経理部長 池尻 修
3.次期中期経営計画（2020中計）について	経営企画部長 青柳 俊之
(質疑応答)	

**NHKニッパツ**

日本発条株式会社



# はじめに

代表取締役副社長 嘉戸廣之

# 17.3期実績



日本発条株式会社

(億円)

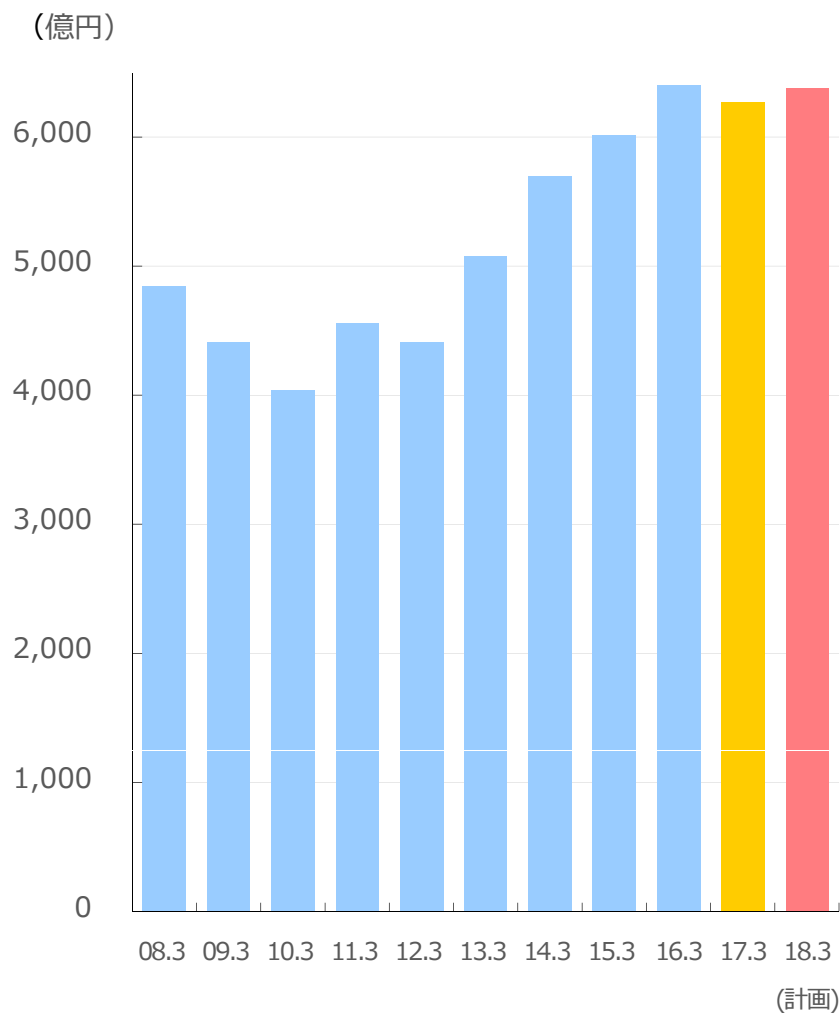
	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度)					
		実績				当初計画 (16.5.12時点)	修正計画 (17.2.3時点)
			前期比	当初計画比	修正計画比		
売上高	6,405	6,269	△2.1%	1.0%	0.8%	6,210	6,220
営業利益 営業利益率	350 5.5%	406 6.5%	15.9%	23.1%	9.8%	330 5.3%	370 5.9%
経常利益 経常利益率	361 5.6%	416 6.6%	15.3%	22.5%	9.6%	340 5.5%	380 6.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	215	250	16.2%	14.1%	9.1%	220	230
EPS (単位：円)	88.90	103.70	—	—	—	90.58	94.69
ROE	8.3%	9.3%	—	—	—	8.4%	—
為替レート (US\$) (タイバーツ)	120.2 3.5	109.0 3.1	—	—	—	105.0 3.2	108.4 3.1

# 18.3期計画

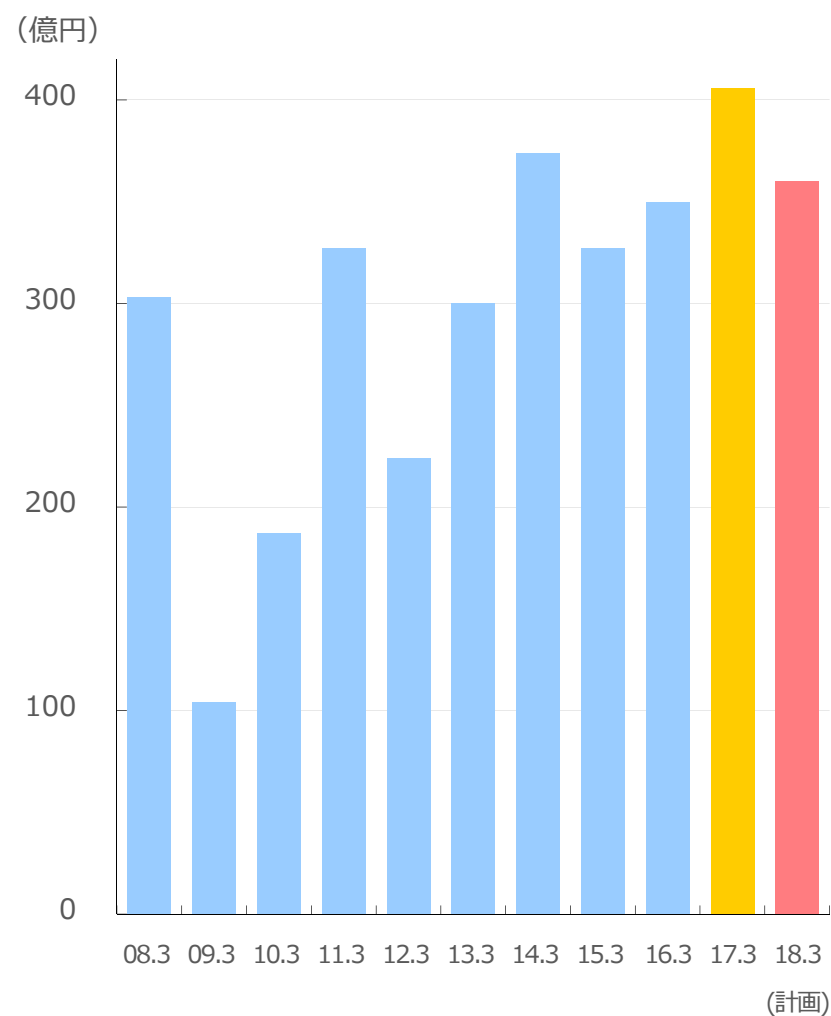
	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	(億円) 前期比
売上高	6,269	6,380	1.8%
営業利益 営業利益率	406 6.5%	360 5.6%	△11.4%
経常利益 経常利益率	416 6.6%	370 5.8%	△11.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	250	250	△0.4%
EPS (単位：円)	103.70	105.44	—
ROE	9.3%	8.7%	—
為替レート (US\$) (タイバーツ)	109.0 3.1	110.0 3.1	— —

# 業績推移

## 売上高

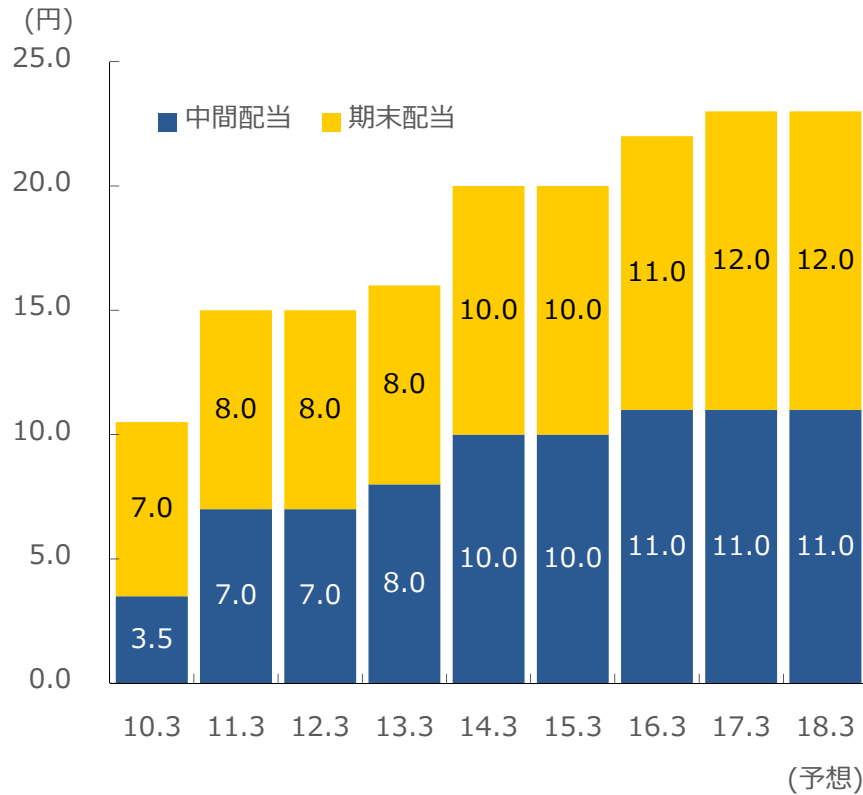


## 営業利益

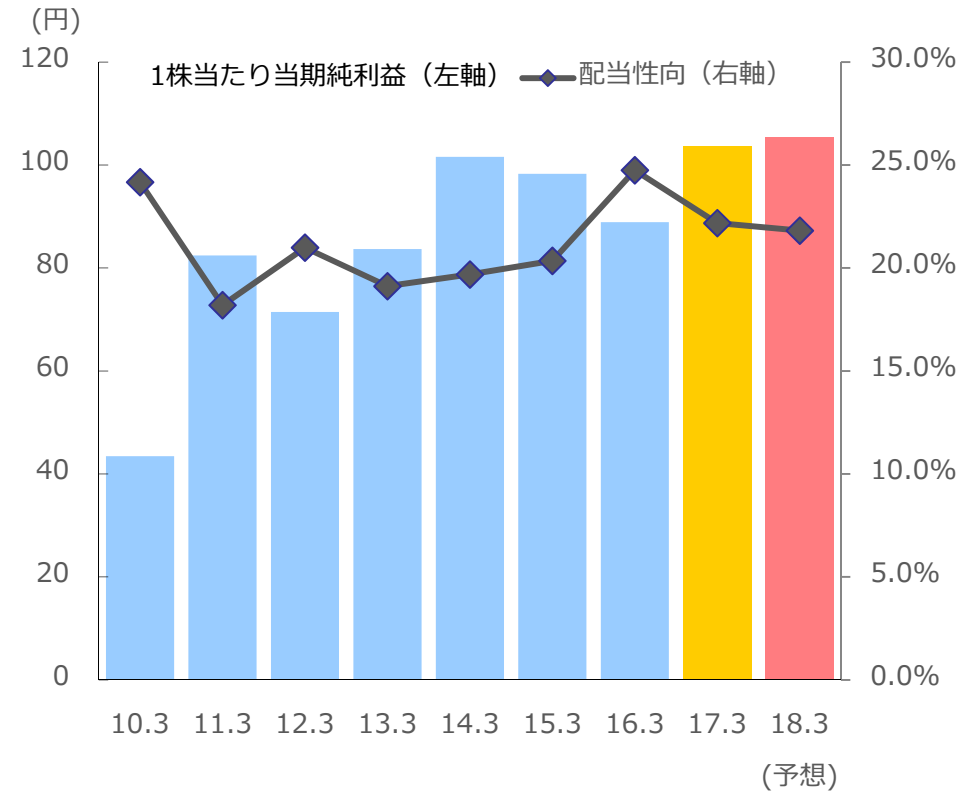


# 配当

## 1株当たり配当額



## 1株当たり当期純利益



	第2四半期末	期末	合計	配当性向
17.3期 (16年度) 実績	11.0円	12.0円	23.0円	22.2%
18.3期 (17年度) 予想	11.0円	12.0円	23.0円	21.8%

# 中期経営計画 2020中計 目標値

## 【売上高・損益目標】

- ・売上高 7,100億円
- ・営業利益 540億円 (利益率 7.6%)
- ・経常利益 570億円 (利益率 8.0%)
- ・親会社株主に帰属  
する当期純利益 380億円 (利益率 5.4%)

## 【財務指標目標】

- ・経常利益率 : 8%以上
- ・ROE : 10%以上
- ・配当性向 : 30%程度を目指す

# 2020中期経営計画 事業戦略

## (1) 拡販を目指した競争力の強化

～ 拡販目標の着実な達成へ向けて ～

- ・ 設計開発力の強化とスピードアップ
- ・ グローバル営業力の強化
- ・ 一層の原価低減の推進

## (2) 新製品・新事業

～ 顧客に選ばれるものづくり ～

- ・ より競争力ある製品の開発と事業化の推進
- ・ 次世代を担う新製品の開発
- ・ 生産技術のさらなる深耕

## (3) CSR

～ ステークホルダーに信頼され続ける企業 ～

- ・ コンプライアンスを重視した透明性の高い経営の実施
- ・ 働き方改革の推進
- ・ 計画的な人材の育成・確保と、ダイバーシティの推進



17.3期決算概要  
18.3期業績予想  
について

経理部長 池尻 修

# 17.3期決算概要

# 17.3期実績① 決算概要



日本発条株式会社

(億円)

	16.3期 (15年度) 実績	17.3期(16年度)					
		実績	前期比	当初計画比	修正計画比	当初計画 (16.5.12 時点)	修正計画 (17.2.3 時点)
売上高	6,405	6,269	△2.1%	1.0%	0.8%	6,210	6,220
営業利益	350	406	15.9%	23.1%	9.8%	330	370
経常利益 (うち、為替差損益)	361 (△21)	416 (△9)	15.3%	22.5%	9.6%	340 (△18)	380 (△20)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (うち、特別損益)	215 (△25)	250 (△39)	16.2%	14.1%	9.1%	220 (-)	230 (△26)
平均為替レート (US\$) (タイバーツ)	120.2 3.5	109.0 3.1	- -	- -	- -	105.0 3.2	108.4 3.1
期末為替レート (US\$) (タイバーツ)	112.7 3.3	112.2 3.2	- -	- -	- -	105.0 3.2	110.0 3.2

17.3期実績②  
為替影響額

(億円)

	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	増減額	為替影響額	増減額 (為替影響額 除く)
売上高	6,405	6,269	△ 135	△ 340	204
営業利益	350	406	55	△ 38	93
経常利益	361	416	55	△ 28	84
親会社株主に 帰属する 当期純利益	215	250	35	△ 19	54
EPS (単位：円)	88.90	103.70	—	—	—
為替レート (US \$)	120.2	109.0	—	—	—
(タイバーツ)	3.5	3.1	—	—	—

### 17.3期実績③

#### 特別損益（主な内訳）

(億円)

科目		内容	金額
特別利益	退職給付制度改定益	退職給付制度DC移行時の引当金 取崩し益	10
	合計		10
特別損失	減損損失	国内子会社本社移転に伴う減損損失	6
		海外子会社生産設備減損損失	8
	関係会社株式評価損	海外子会社株式評価損	14
	工場閉鎖損失	海外子会社工場閉鎖損失	11
	弁護士報酬等	独占禁止法調査対応に伴う弁護士費用	5
	その他		4
	合計		50

## 17.3期実績④

### セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、為替影響を除くと売上は堅調に推移し、シート事業は合理化の進捗から収支が大幅に改善した。
- ◆ 精密部品のうちHDD関連は、パソコン向けは減少したものの、データセンター向けは堅調に推移した。
- ◆ 産業機器ほかは、半導体向けを中心に好調に推移した。

(億円)

		16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	17.3期 当初計画 (16.5.12時点)	17.3期 修正計画 (17.2.3時点)	前期比	当初 計画比	修正 計画比
懸架ばね	売上高	1,245	1,195	1,170	1,180	△4.0%	2.2%	1.3%
	営業利益	120	115	98	102	△4.4%	17.7%	13.1%
	率	9.7%	9.6%	8.4%	8.6%	-	-	-
シート	売上高	2,960	2,859	2,910	2,850	△3.4%	△1.7%	0.3%
	営業利益	98	139	137	127	42.4%	2.1%	10.1%
	率	3.3%	4.9%	4.7%	4.5%	-	-	-
精密部品	売上高	1,429	1,390	1,330	1,380	△2.7%	4.6%	0.8%
	営業利益	100	96	53	91	△4.6%	81.2%	5.6%
	率	7.0%	6.9%	4.0%	6.6%	-	-	-
産業機器 ほか	売上高	770	823	800	810	7.0%	3.0%	1.7%
	営業利益	30	54	42	50	78.2%	30.7%	9.8%
	率	4.0%	6.7%	5.3%	6.2%	-	-	-
合計	売上高	6,405	6,269	6,210	6,220	△2.1%	1.0%	0.8%
	営業利益	350	406	330	370	15.9%	23.1%	9.8%
	率	5.5%	6.5%	5.3%	5.9%	-	-	-

## 17.3期実績⑤

### 地域別の売上高・営業利益の状況

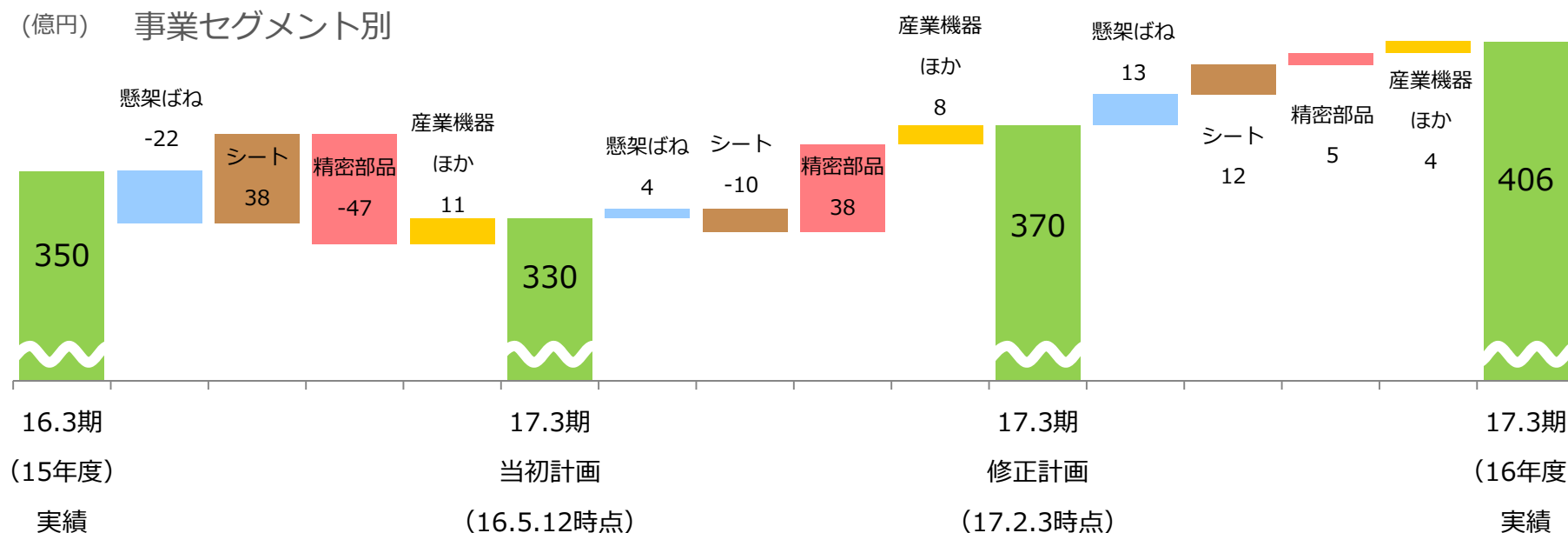
- ◆ 日本 : シート事業を中心に売上が拡大、合理化努力により前期、計画を上回る実績となった。
- ◆ アジア : 為替影響、シート事業の受注減から売上は前期、当初計画に対して未達となったものの、合理化努力、車種構成の改善から、営業利益は前期、計画を上回る実績となった。
- ◆ 北米ほか : 為替影響から対前期減収減益となったものの、シート事業が好調に推移した。

(億円)

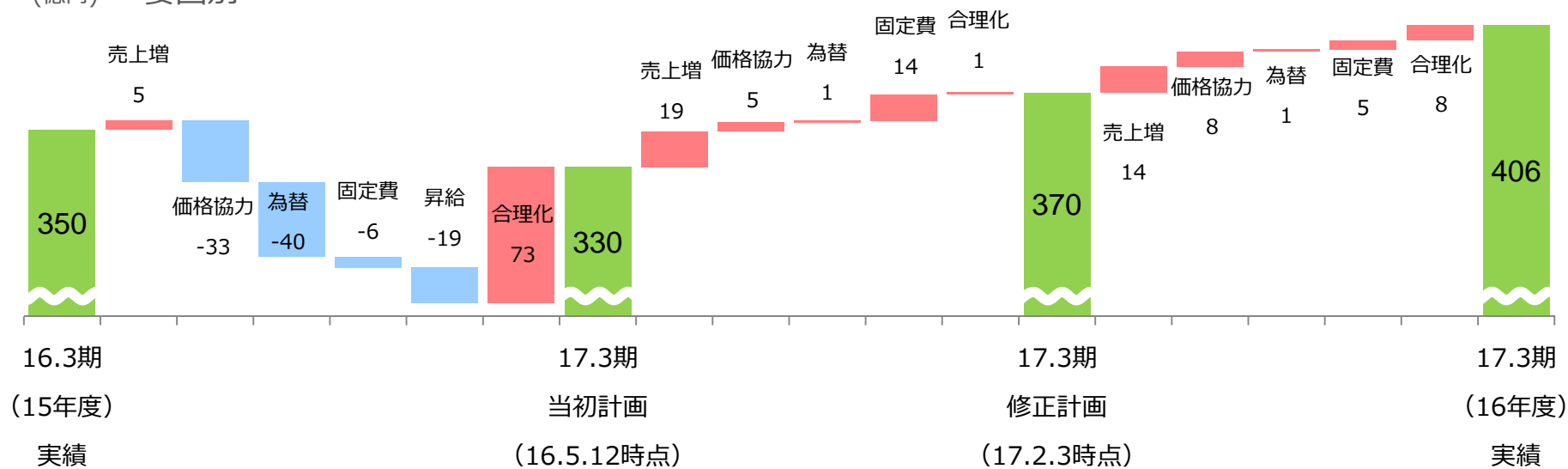
		16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	17.3期 当初計画 (16.5.12時点)	17.3期 修正計画 (17.2.3時点)	前期比	当初 計画比	修正 計画比
日本	売上高	3,598	3,809	3,743	3,757	5.8%	1.8%	1.4%
	営業利益	216	262	191	228	21.0%	37.2%	14.9%
	率	6.0%	6.9%	5.1%	6.1%	-	-	-
アジア	売上高	1,674	1,407	1,452	1,409	△16.0%	△3.1%	△0.1%
	営業利益	101	114	108	114	13.0%	6.2%	0.6%
	率	6.1%	8.1%	7.4%	8.1%	-	-	-
北米ほか	売上高	1,131	1,052	1,015	1,054	△7.0%	3.7%	△0.1%
	営業利益	32	29	31	28	△9.2%	△5.0%	5.2%
	率	2.9%	2.8%	3.1%	2.7%	-	-	-
合計	売上高	6,405	6,269	6,210	6,220	△2.1%	1.0%	0.8%
	営業利益	350	406	330	370	15.9%	23.1%	9.8%
	率	5.5%	6.5%	5.3%	5.9%	-	-	-

# 17.3期実績⑥ 営業利益の変動要因分析

(億円) 事業セグメント別

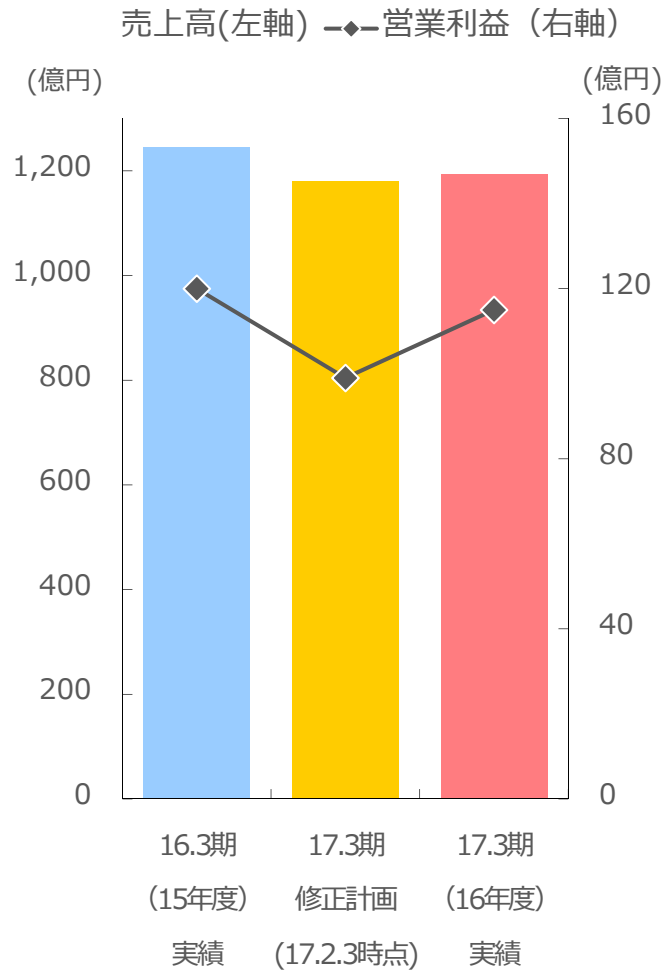


(億円) 要因別





# 17.3期実績⑦ セグメント別分析① 懸架ばね



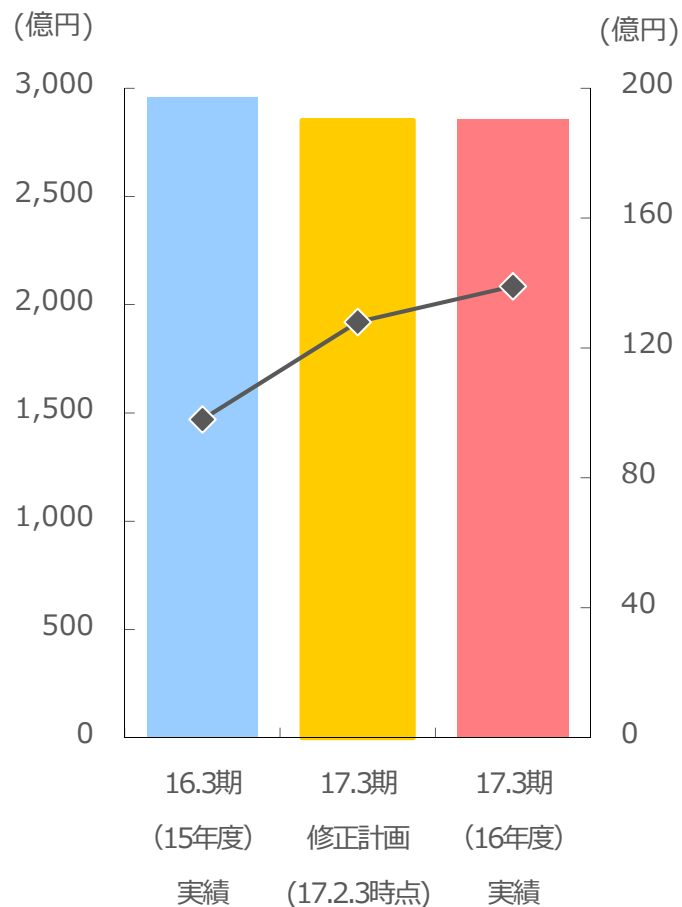
	16.3期 (15年度) 実績	17.3期(16年度)		前期比	修正 計画比	
		実績	当初計画 (16.5.12時点)			修正計画 (17.2.3時点)
売上高	1,245	1,195	1,170	1,180	△4.0%	1.3%
営業利益	120	115	98	102	△4.4%	13.1%
営業 利益率	9.7%	9.6%	8.4%	8.6%	-	-

※17.3期 為替影響：売上高△83億円、営業利益△14億円

- ▽対前期実績：為替影響を除くとタイ子会社は堅調に推移、中国子会社が好調に推移した。
- ▽対当初計画：主として国内子会社が、受注増により好調に推移、北米子会社も堅調に推移した。
- ▽対修正計画：品種構成差、固定費減により修正計画をさらに上回る実績となった。

# 17.3期実績⑧ セグメント別分析② シート

売上高(左軸) ◆—営業利益(右軸)

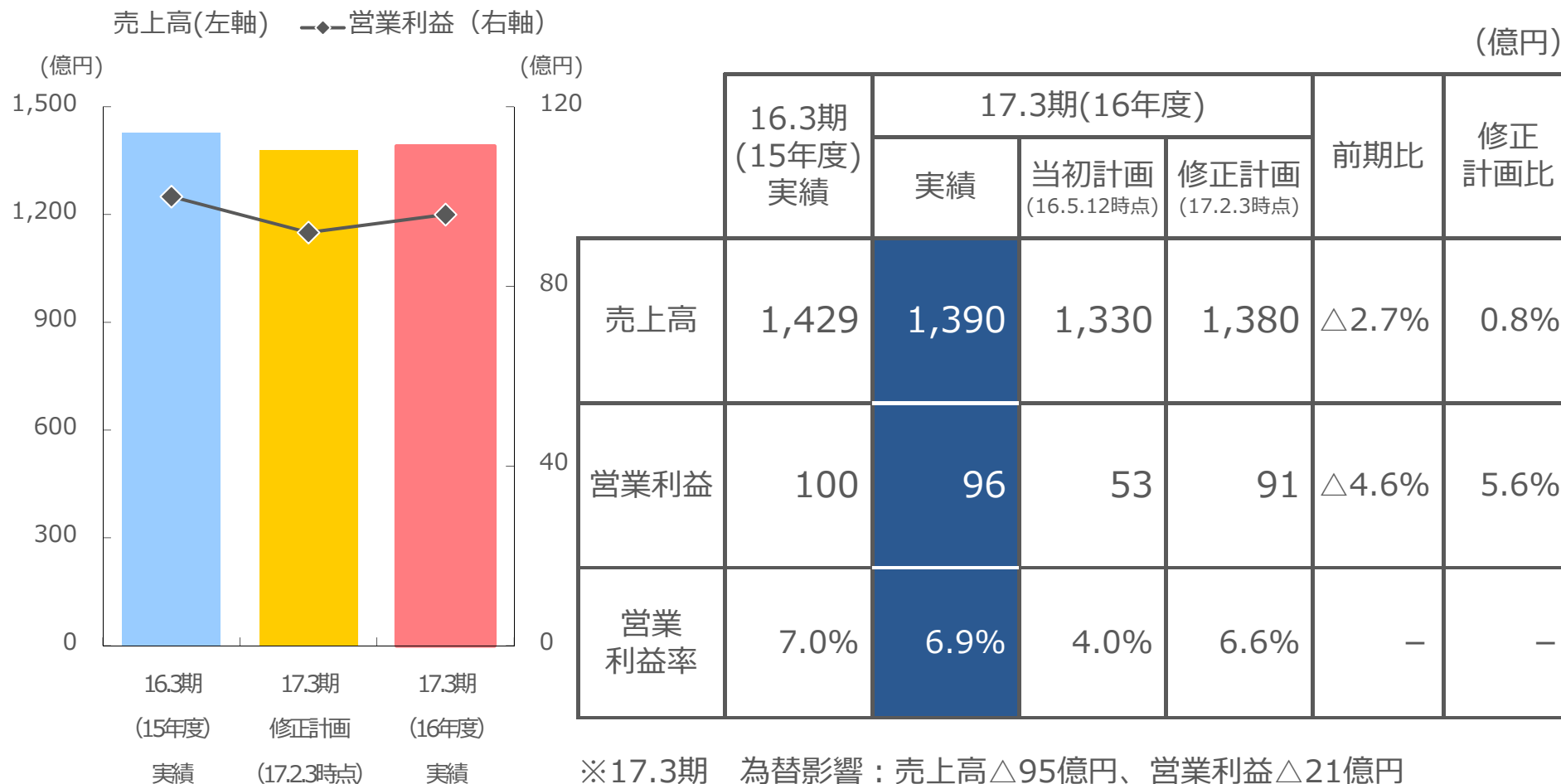


	16.3期 (15年度) 実績	17.3期(16年度)		前期比	修正 計画比	
		実績	当初計画 (16.5.12時点)			修正計画 (17.2.3時点)
売上高	2,960	2,859	2,910	2,850	△3.4%	0.3%
営業利益	98	139	137	127	42.4%	10.1%
営業 利益率	3.3%	4.9%	4.7%	4.5%	—	—

※17.3期 為替影響：売上高△155億円、営業利益1億円

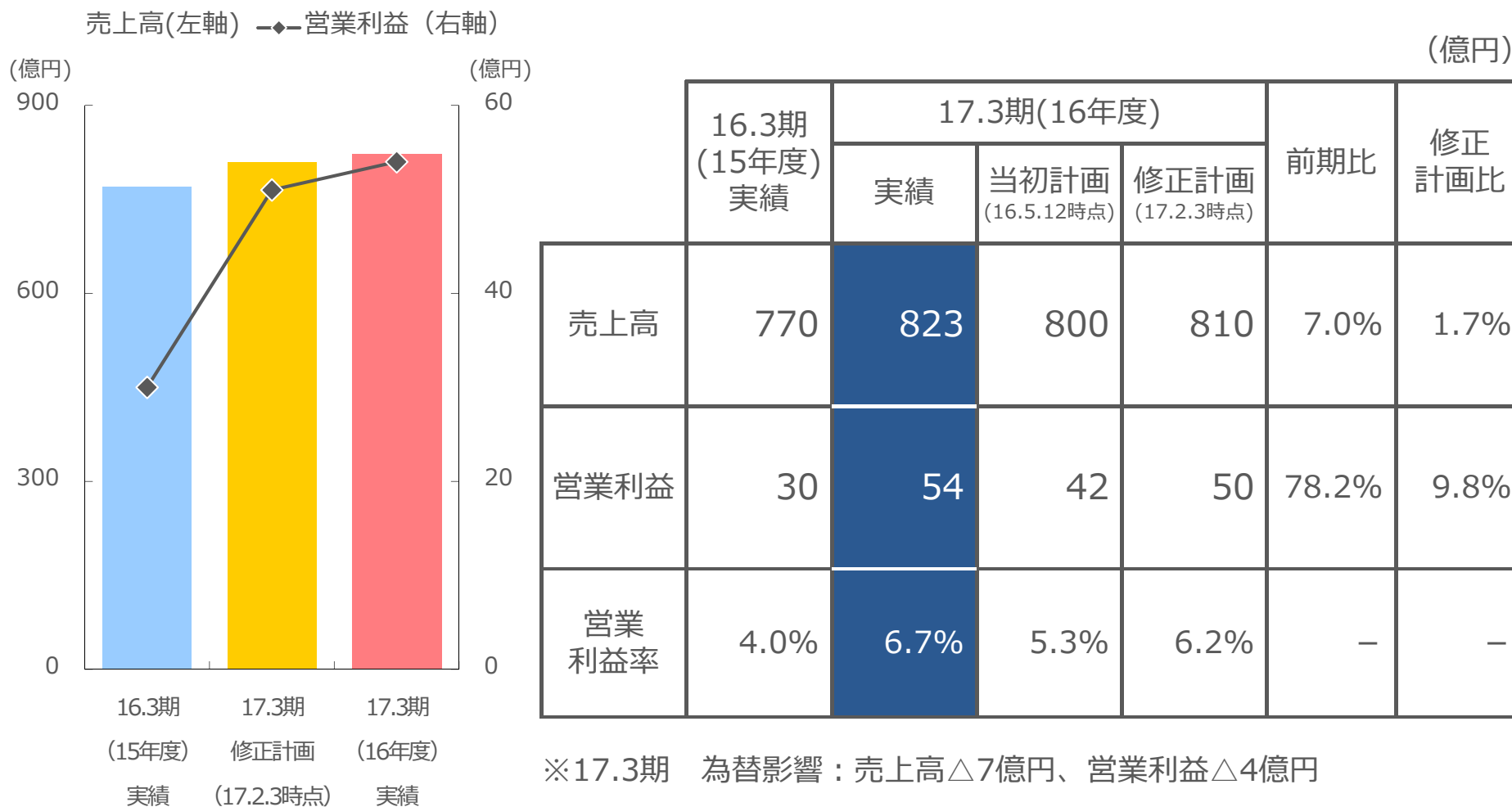
- ▽対前期実績：アジアは、受注減から対前期下振れとなったが、国内、北米は受注増により好調に推移した。
- ▽対当初計画：国内、中国では減収となったが、合理化努力、為替影響から計画を上回った。
- ▽対修正計画：主として価格協力の圧縮、合理化の進捗により営業利益を押し上げた。

# 17.3期実績⑨ セグメント別分析③ 精密部品



- ▽対前期実績：自動車関連はグローバルで好調に推移、HDD関連は受注減により減収となったが合理化努力により営業利益を押し上げた。
- ▽対当初計画：自動車関連は、堅調に推移、HDD関連は国内の受注増、価格協力の圧縮、合理化努力により営業利益を押し上げた。
- ▽対修正計画：自動車関連、HDD関連とも堅調に推移した。

# 17.3期実績⑩ セグメント別分析④ 産業機器ほか



- ▽対前期実績：半導体向けを中心に各事業分野とも堅調に推移した。
- ▽対当初計画：半導体向けを中心に概ね各事業分野とも当初計画を上回った。
- ▽対修正計画：各事業分野とも堅調に推移し、修正計画を上回る着地となった。

# 17.3期実績⑪

## 資産の状況

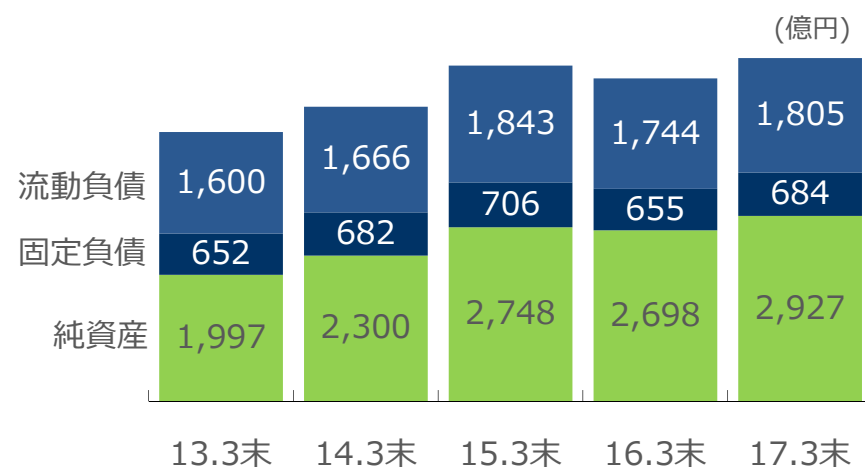
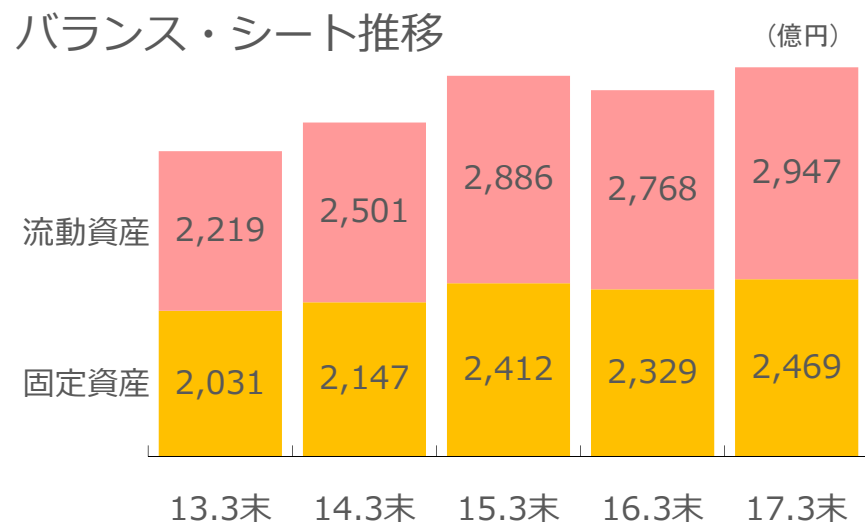
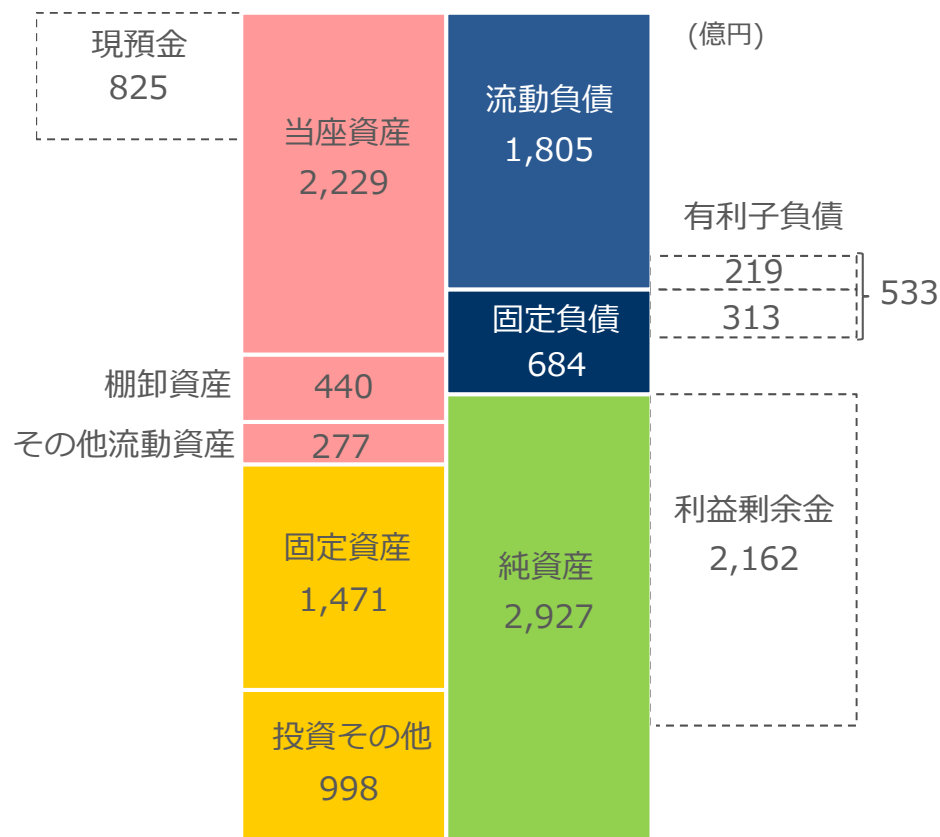
(億円)

	13.3期 (12年度末) 実績	14.3期 (13年度末) 実績	15.3期 (14年度末) 実績	16.3期 (15年度末) 実績	17.3期 (16年度末) 実績	増減額
総資産	4,250	4,649	5,298	5,098	5,417	319
自己資本	1,900	2,182	2,626	2,572	2,796	224
自己資本比率	44.7%	46.9%	49.6%	50.5%	51.6%	-
現預金	571	622	837	725	825	100
有利子負債	719	610	645	573	533	△39
ネット キャッシュ	△148	12	191	152	291	139

# 17.3期実績⑫ BSの状況

## バランス・シート

## バランス・シート推移

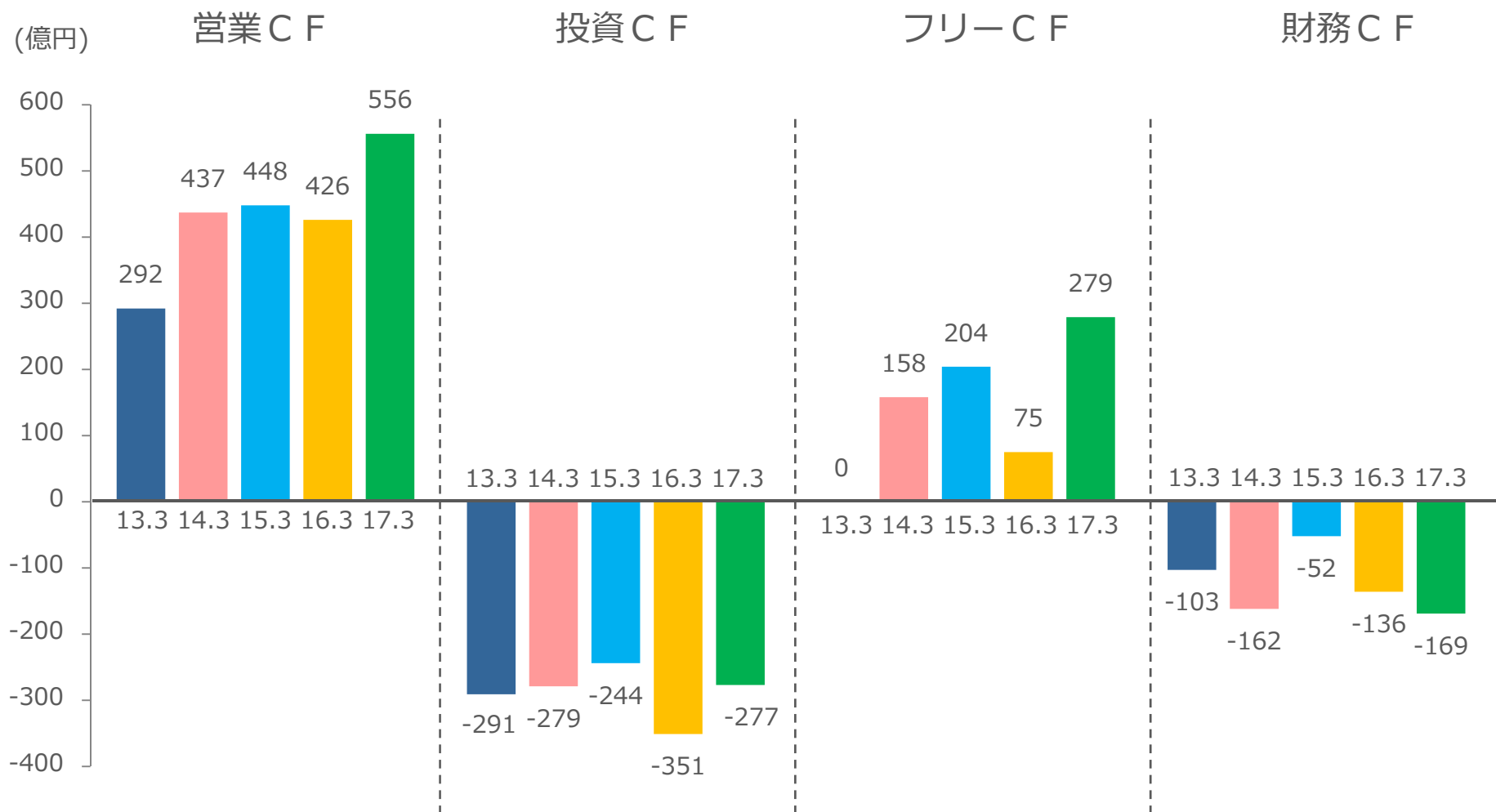


▽資 産：現金及び預金や投資有価証券の増加等により、前期末に比べ319億円増加した。

▽負 債：繰延税金負債の増加等により、前期末に比べ89億円増加した。

▽純資産：自己株式の取得はあったものの、利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ229億円増加した。

# 17.3期実績⑬ C F の状況

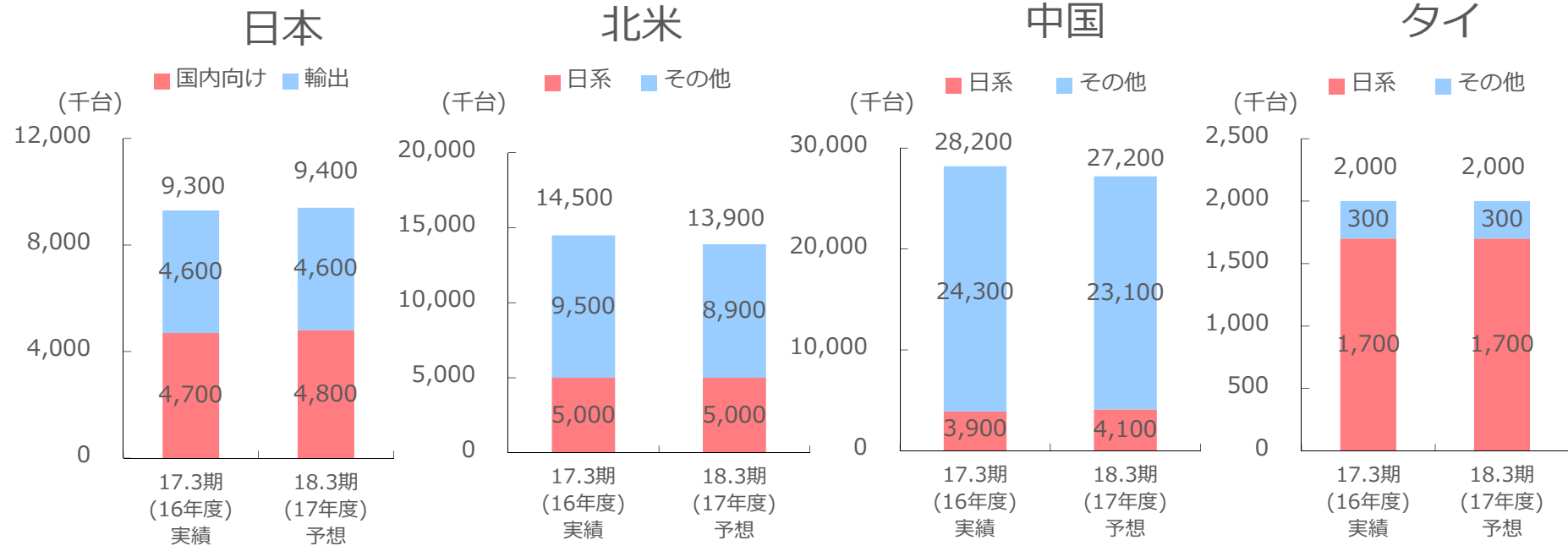


# 18.3期業績予想

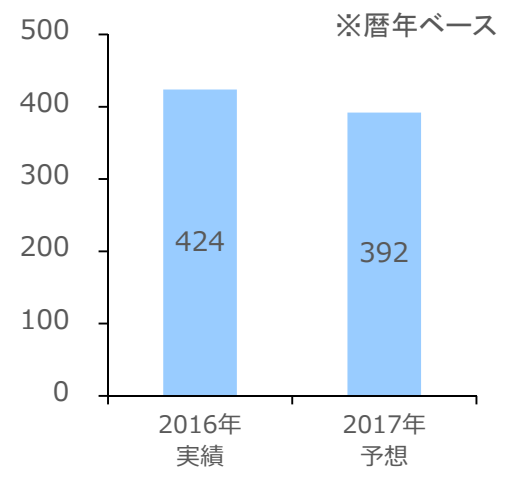


# 18.3期業績予想①

## 業績予想の前提条件(自動車生産台数、HDD台数)



### (百万台) HDD台数(全世界)



▽自動車生産台数は全世界で0.6%程度の増加を見込む。日本は緩やかな景気回復局面を背景に生産台数は微増。各国の保護主義的政策や地政学リスクの高まり等を背景に、北米、中国の生産台数はやや下振れする見通し。タイは、概ね2016年度並みを見込む。

▽HDD生産台数は、スマートフォン、タブレット普及によるPC離れ、モバイルPCでのSSD(ソリッドステートドライブ)採用増加により、総需要は4億台を割り込む見通し。

18.3期業績予想②  
2018年3月期通期計画

(億円)

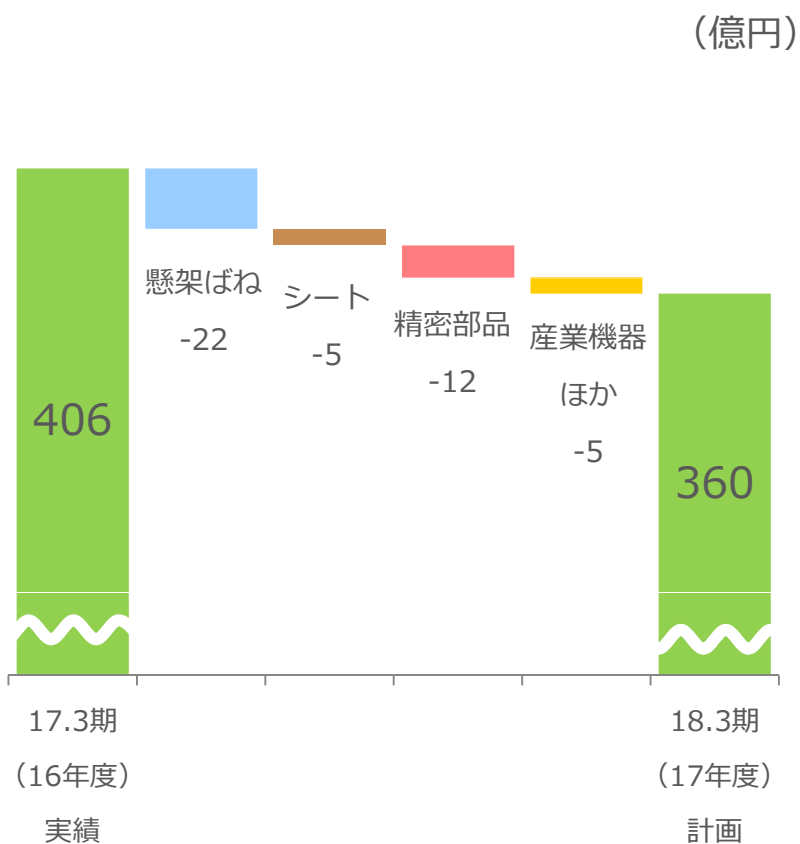
前期比

	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
売上高	6,269	6,380	1.8%
営業利益	406	360	△11.4%
経常利益	416	370	△11.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	250	250	△0.4%
EPS (単位：円)	103.70	105.44	—
ROE	9.3%	8.7%	—
為替レート (US\$)	109.0	110.0	—
(タイバーツ)	3.1	3.1	—

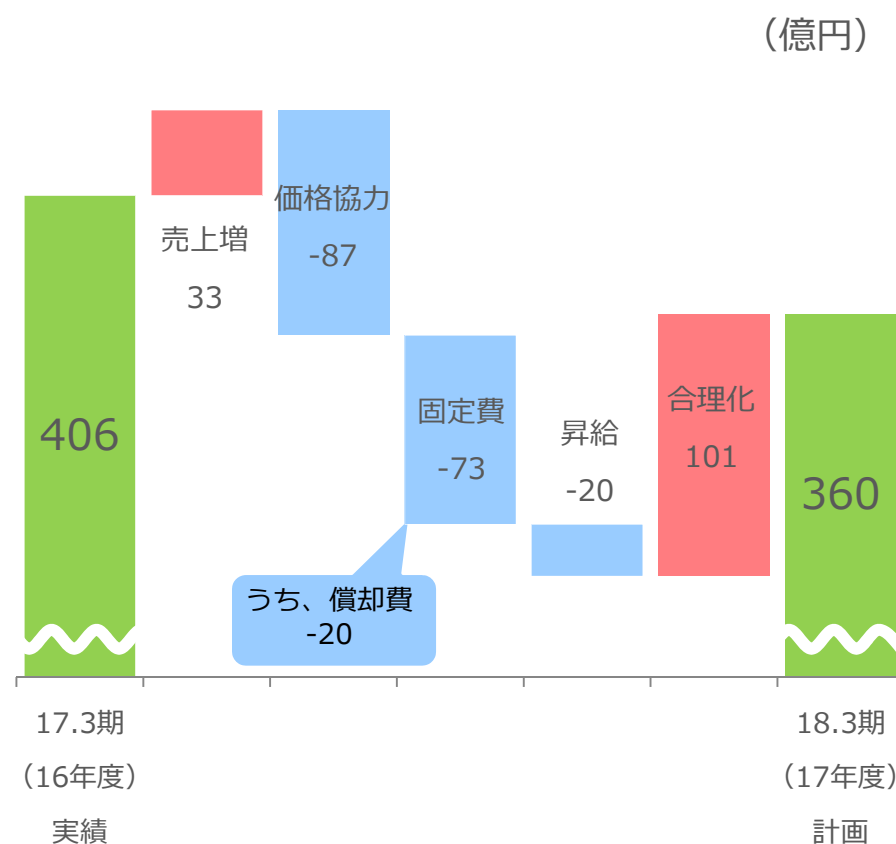
# 18.3期業績予想③ 営業利益の変動要因分析

- ◆ 車種構成や価格協力などの影響により減益となる見込み。
- ◆ 競争力強化、新規受注に向けた研究開発、設備投資を継続しつつ、徹底的なコスト削減による原価圧縮と固定費削減等、次期中期経営計画につながる施策を実行していく。

事業セグメント別



要因別



## 18.3期業績予想④ セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、グローバルで堅調な需要を見込む。
- ◆ 情報通信関連では、HDD生産台数の減や価格協力の影響により増収減益となる見込み。

(億円)

		17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
懸架ばね	売上高	1,195	1,210	1.2%
	営業利益	115	93	△19.4%
	率	9.6%	7.7%	—
シート	売上高	2,859	2,890	1.1%
	営業利益	139	134	△4.2%
	率	4.9%	4.6%	—
精密部品	売上高	1,390	1,410	1.4%
	営業利益	96	84	△12.6%
	率	6.9%	6.0%	—
産業機器ほか	売上高	823	870	5.6%
	営業利益	54	49	△10.7%
	率	6.7%	5.6%	—
合計	売上高	6,269	6,380	1.8%
	営業利益	406	360	△11.4%
	率	6.5%	5.6%	—

## 18.3期業績予想⑤

### 地域別の売上高・営業利益の状況

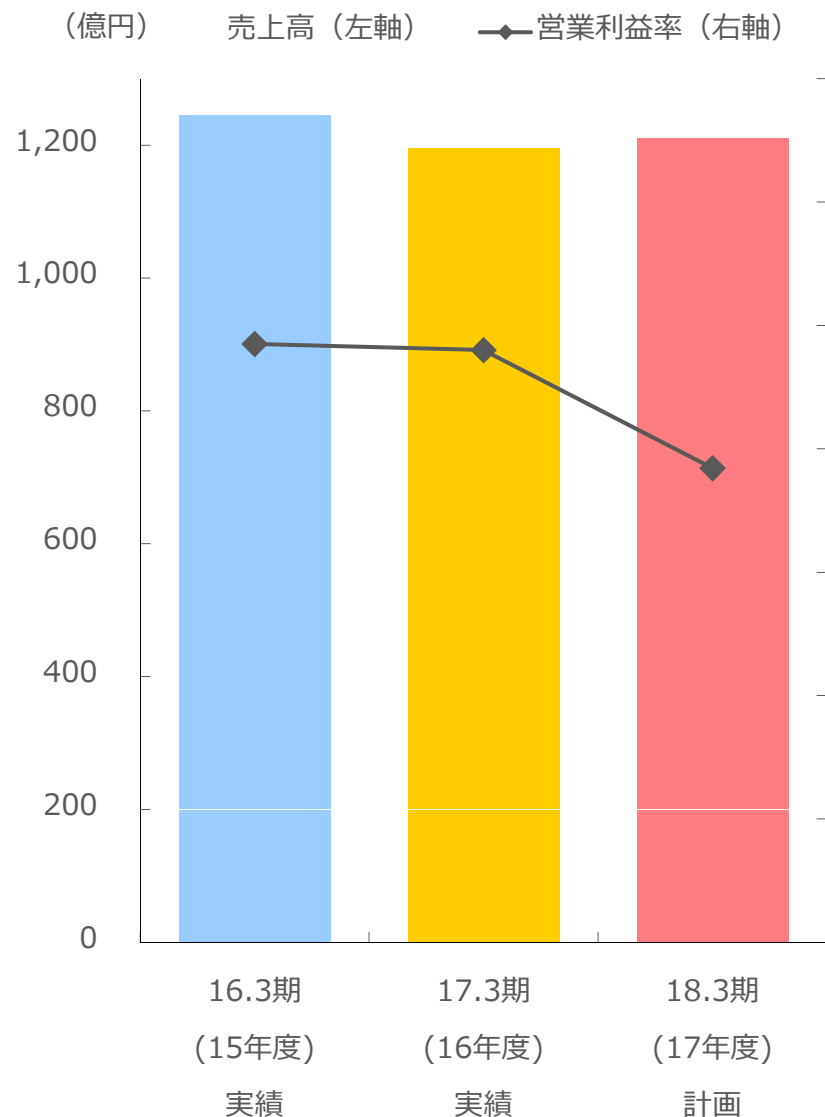
- ◆ 日本：売上構成差、価格協力の影響から増収減益となる見込み。
- ◆ アジア：売上は堅調に推移し、増収増益となる見込み。
- ◆ 北米ほか：売上は拡大するものの、構成差から増収減益となる見込み。

(億円)

		17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
日本	売上高	3,809	3,836	0.7%
	営業利益	262	202	△22.9%
	率	6.9%	5.3%	－
アジア	売上高	1,407	1,431	1.7%
	営業利益	114	133	16.0%
	率	8.1%	9.3%	－
北米ほか	売上高	1,052	1,113	5.7%
	営業利益	29	25	△15.1%
	率	2.8%	2.2%	－
合計	売上高	6,269	6,380	1.8%
	営業利益	406	360	△11.4%
	率	6.5%	5.6%	－

# 18.3期業績予想⑥：セグメント① 懸架ばね

## 売上高・営業利益率の見通し



(億円)

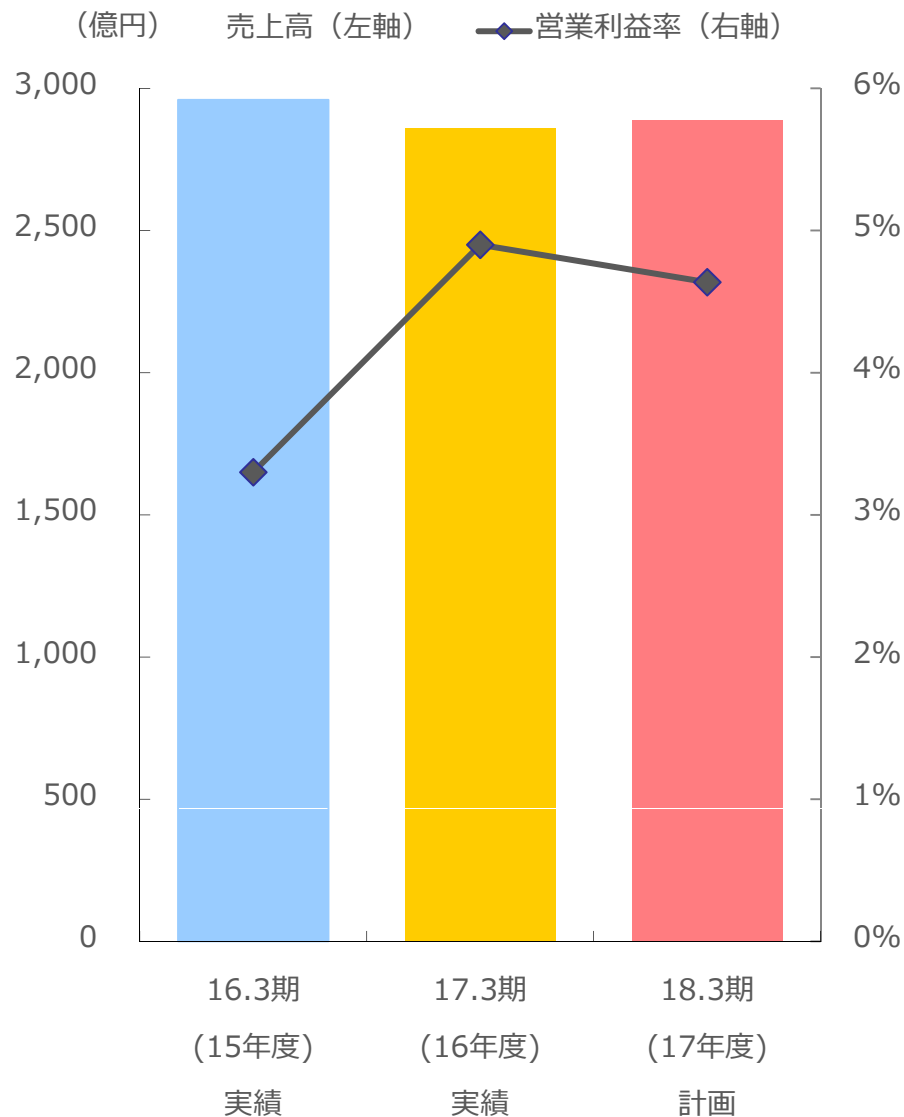
	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
売上高	1,245	1,195	1,210	1.2%
営業利益	120	115	93	△19.4%
営業利益率	9.7%	9.6%	7.7%	-

▽計画値には、新規連結2社（メキシコ、九州）を含む。

▽海外子会社は、概ね堅調に推移する見込みだが、国内は受注減、固定費増から増収減益となる見込み。

# 18.3期業績予想⑦：セグメント② シート

## 売上高・営業利益率の見通し



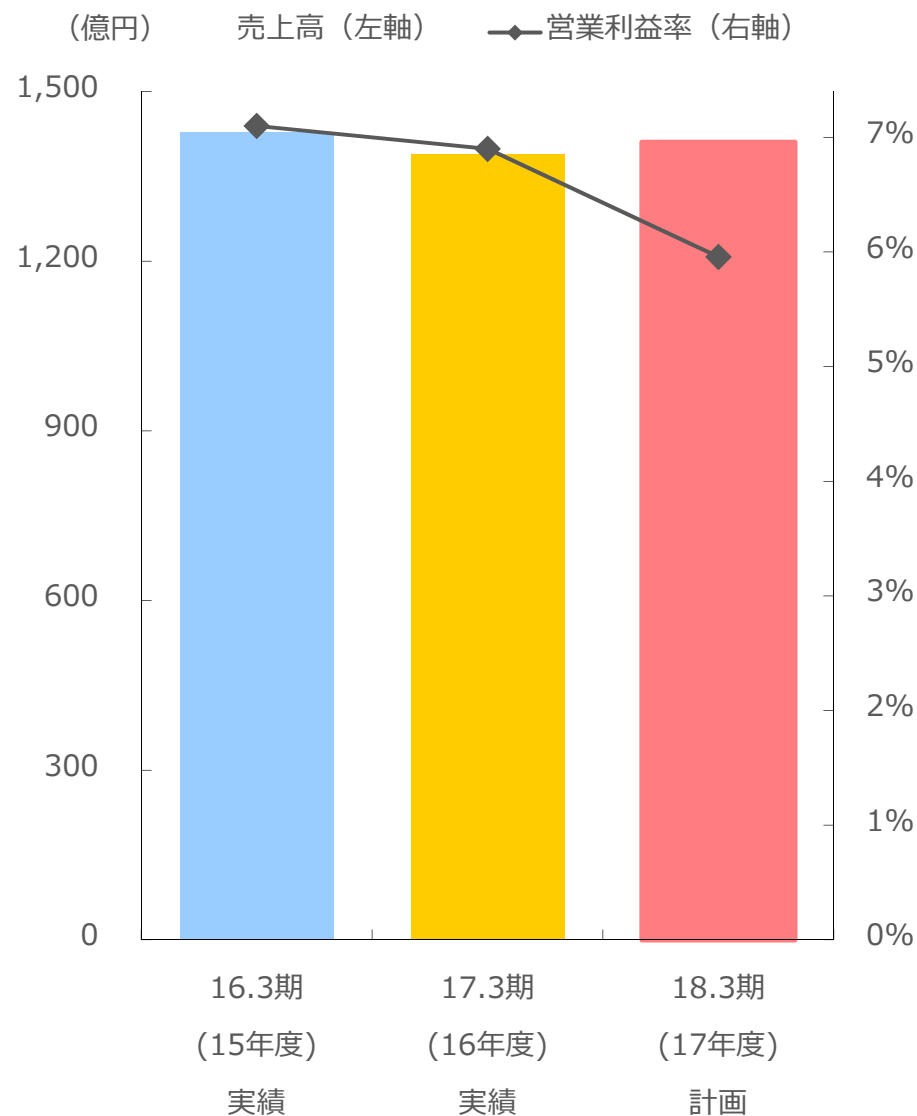
(億円)

	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
売上高	2,960	2,859	2,890	1.1%
営業利益	98	139	134	△4.2%
営業利益率	3.3%	4.9%	4.6%	—

▽車種構成、価格協力の影響から増収減益となる見込み。

# 18.3期業績予想⑧：セグメント③ 精密部品

## 売上高・営業利益率の見通し



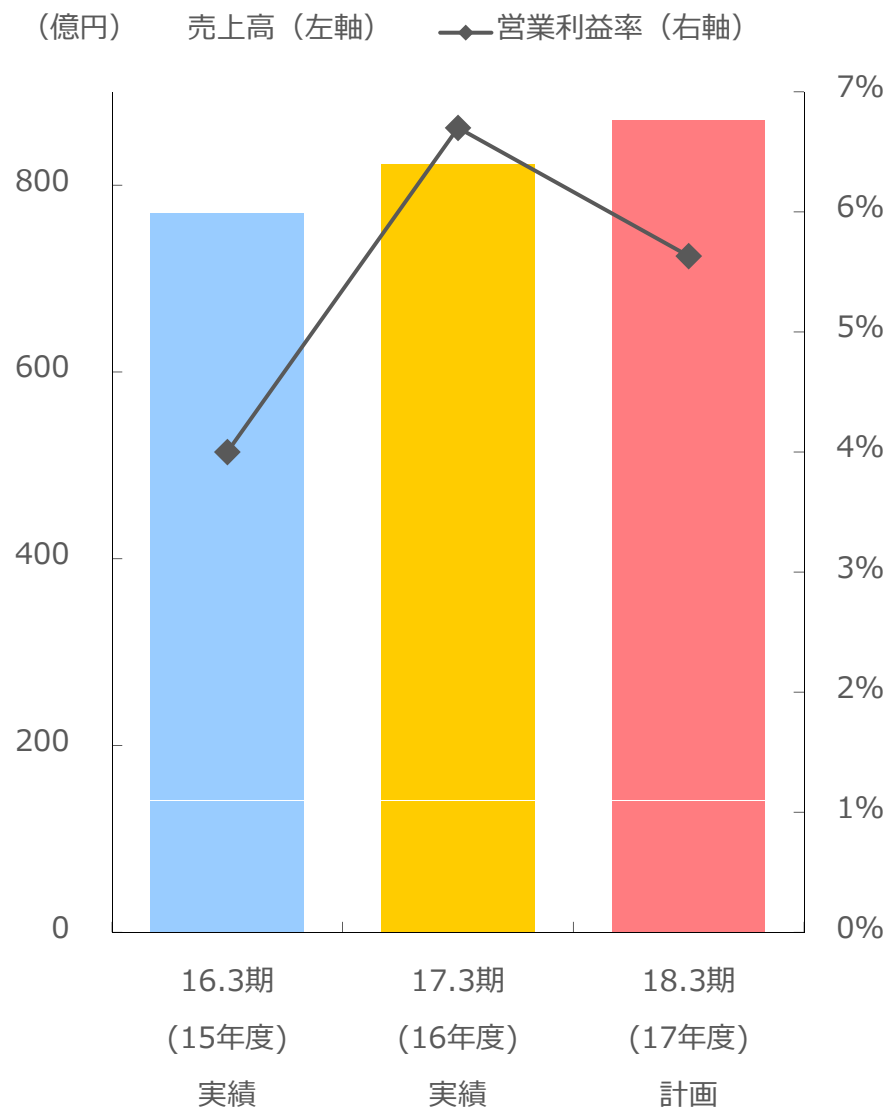
	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
売上高	1,429	1,390	1,410	1.4%
営業利益	100	96	84	△12.6%
営業利益率	7.0%	6.9%	6.0%	—

▽自動車関連は堅調に推移する見込みだが、HDD関連は価格協力、固定費増となりセグメント全体では増収減益となる見込み。



# 18.3期業績予想⑨：セグメント④ 産業機器ほか

## 売上高・営業利益率の見通し



(億円)

	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	前期比
売上高	770	823	870	5.6%
営業利益	30	54	49	△10.7%
営業利益率	4.0%	6.7%	5.6%	—

▽半導体向けを中心に売上を拡大するものの、全体では売上構成差などから増収減益となる見込み。

18.3期業績予想⑩  
設備投資・減価償却費

(億円)

		15.3期 (14年度) 実績	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画
設備投資	国内	115	135	165	219
	海外	91	138	91	114
	小計	206	273	256	334
	非連結	35	39	58	27
	合計	242	313	315	361
減価償却費	国内	118	124	128	149
	海外	96	111	103	101
	合計	214	235	231	251

## 18.3期業績予想⑪ 設備投資・減価償却費

**NHKニッパツ**

日本発条株式会社

(億円)

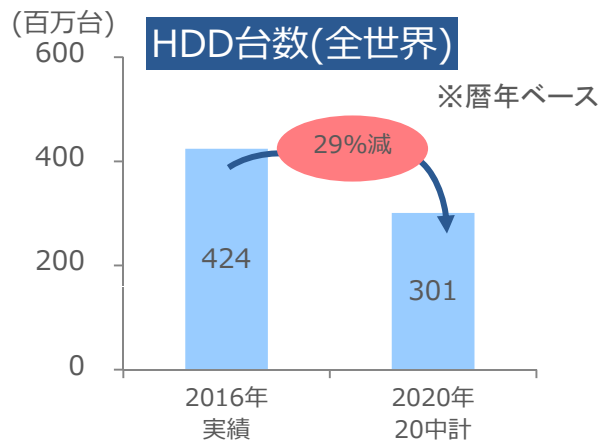
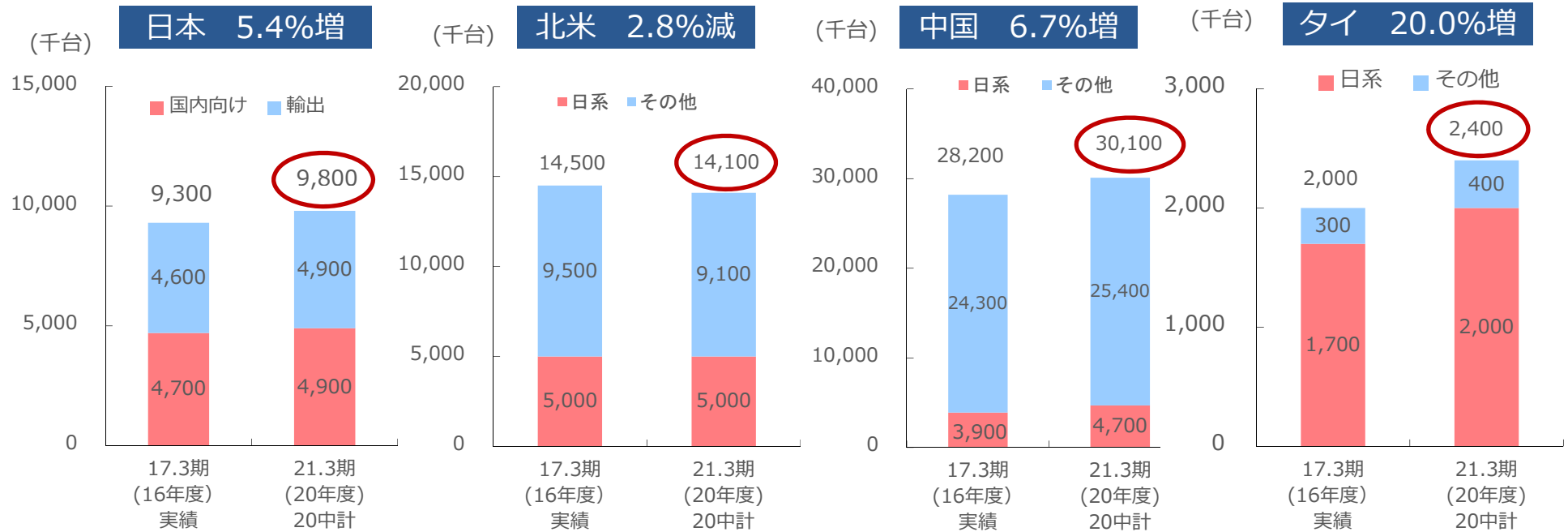
		15.3期 (14年度) 実績	16.3期 (15年度) 実績	17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画
設備投資	懸架ばね	71	102	57	117
	前期比	41.1%	43.6%	△43.7%	104.1%
	シート	48	54	54	52
	前期比	18.3%	12.5%	△1.2%	△3.6%
	精密部品	70	90	106	131
	前期比	△27.8%	29.3%	17.0%	23.4%
	産業機器ほか	16	25	37	32
前期比	△9.4%	58.6%	49.1%	△13.8%	
	合計	206	273	256	334
	前期比	△0.2%	32.5%	△6.4%	30.3%
減価償却費	懸架ばね	51	59	58	67
	前期比	12.9%	14.2%	△1.9%	15.7%
	シート	47	58	62	59
	前期比	△3.6%	24.7%	5.3%	△3.7%
	精密部品	94	94	87	96
	前期比	0.5%	△0.1%	△8.0%	10.8%
	産業機器ほか	20	22	23	27
前期比	△2.5%	11.7%	5.0%	17.0%	
	合計	214	235	231	251
	前期比	1.9%	9.9%	△1.9%	8.8%

# 次期中期経営計画 (2020中計)について

執行役員 経営企画部長 青柳 俊之

# (1) 2020中計の前提条件

## 2020中計の前提条件(自動車生産台数・HDD台数)



- ◆ 北米は伸び悩むものの、グローバル生産台数は2019年には1億台に達する。これに沿って日系のグローバル生産も伸びると見込む。
- ◆ HDD生産台数は、SSD、クラウドサービスへの移行に伴い、3億台程度まで減少するが、ニアライン台数の増加により台当りの搭載本数は増加する為、サスペンション総需要は5%程度の減に留まる。
- ◆ 為替レート(期中平均) ・ 17.3期 (US\$ : 109.0円、THB : 3.1円)  
・ 21.3期 (US\$ : 105円、THB : 3.0円)

## (2) 2020中計概要

- ◆ 既存拠点の収益向上と海外拠点の充実、現製品の拡販による売上増により、新製品・新拠点に対する積極的な設備投資を継続しつつ、最高益の更新を目指す。

(億円)

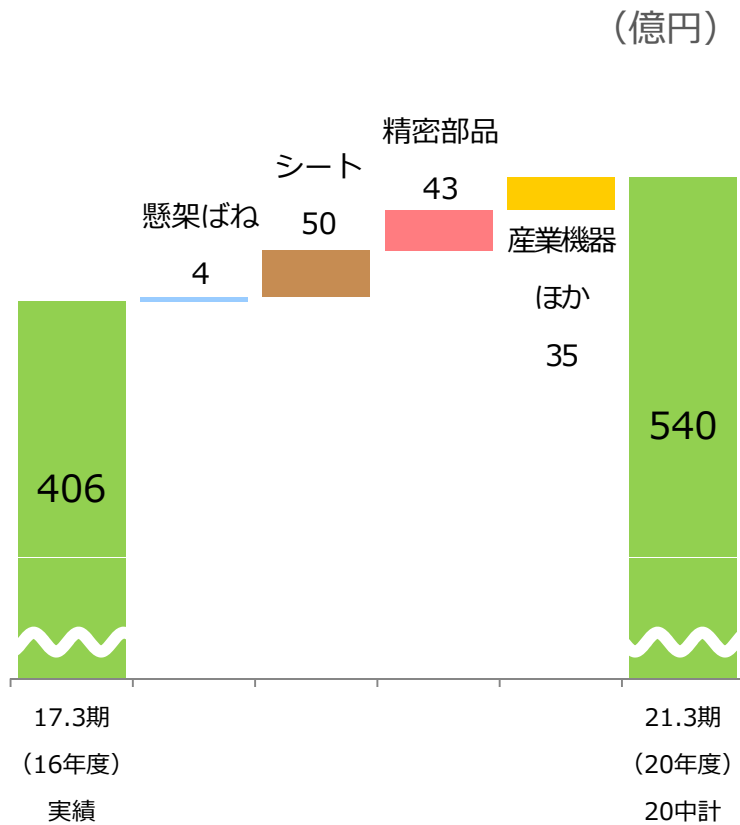
	17.3期 (16年度) 実績	21.3期 (20年度) 20中計	増減額	増減率
売上高	6,269	7,100	830	13.2%増
営業利益	406	540	133	33.0%増
営業利益率	6.5%	7.6%		
経常利益	416	570	153	36.9%増
経常利益率	6.6%	8.0%		
親会社株主に 帰属する 当期純利益	250	380	129	51.4%増

## (2) 2020中計概要

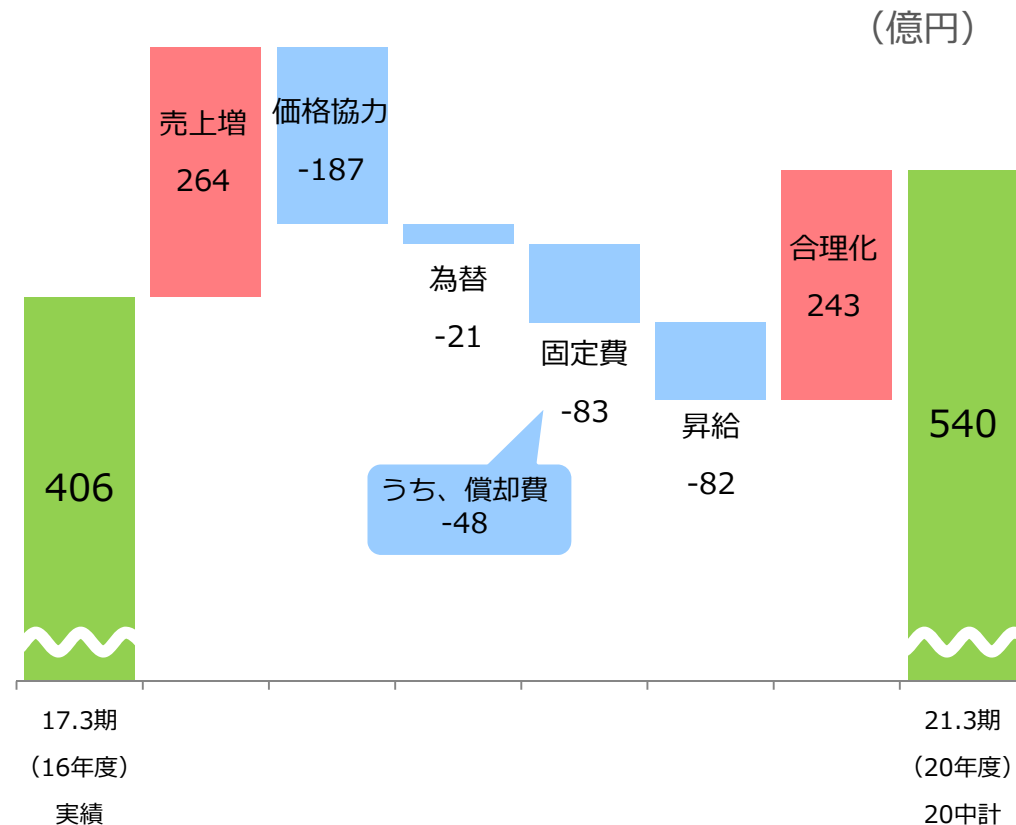
### 営業利益の変動要因分析

- ◆ 売価ダウンの影響を受けつつも、国内・海外での売上拡大や合理化による原価低減により営業利益は17.3期に対して133億円の増益を計画する。

#### 事業セグメント別



#### 要因別



## (2) 2020 中計概要

### セグメント別 売上高・営業利益の状況

- ◆ 懸架ばねは新拠点の収益貢献はあるが、国内の固定費増により 営業利益は微増に留まる。シートは海外拠点の数量増により増収増益を見込む。精密部品は、自動車関連での国内外の売上増及び海外拠点の合理化により増収増益の見通し。産業機器ほかも各事業の堅調な伸びにより増収増益を見込んでいる。

(億円)

		17.3期 (16年度) 実績	21.3期 (20年度) 20中計	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,195	1,390	194	16.3%
	営業利益	115	120	4	4.0%
	率	9.6%	8.6%	—	—
シート	売上高	2,859	3,050	190	6.7%
	営業利益	139	190	50	35.9%
	率	4.9%	6.2%	—	—
精密部品	売上高	1,390	1,650	259	18.6%
	営業利益	96	140	43	45.7%
	率	6.9%	8.5%	—	—
産業機器 ほか	売上高	823	1,010	186	22.6%
	営業利益	54	90	35	63.9%
	率	6.7%	8.9%	—	—
合計	売上高	6,269	7,100	830	13.2%
	営業利益	406	540	133	33.0%
	率	6.5%	7.6%	—	—



## (2) 2020中計概要

### 地域別 売上高・営業利益の状況

- ◆ 国内は精密・自動車関連の売上増により増収増益を見込む。北米は新規連結会社の収益貢献とシートの数量増、及び精密の収益改善により採算性が向上し増収増益を計画。アジアはタイの自動車市況回復による増収増益を織り込んでいる。

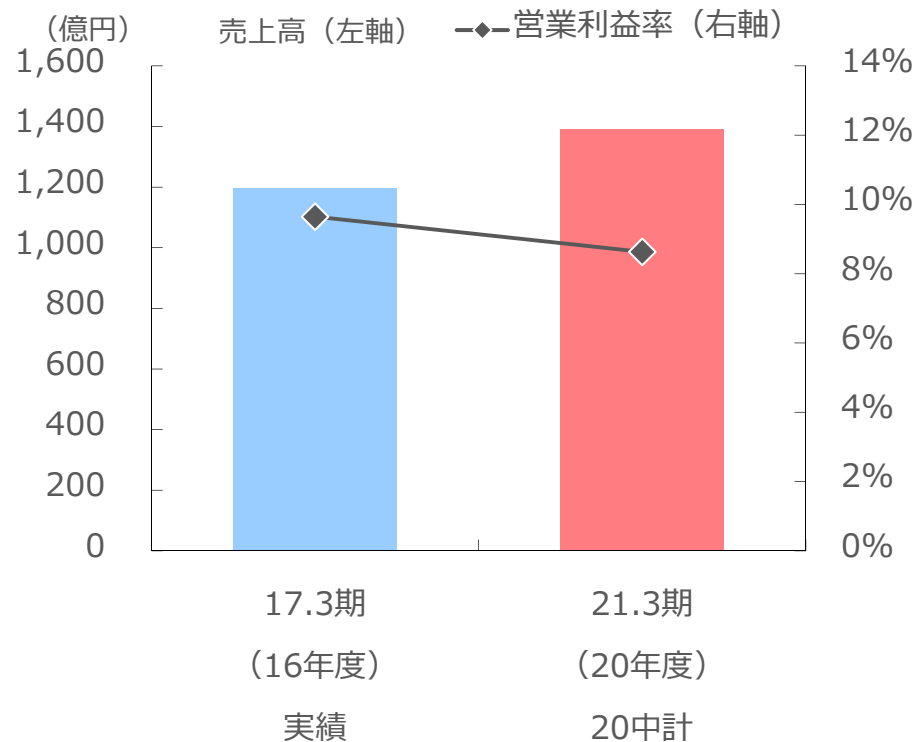
(億円)

		17.3期 (16年度) 実績	21.3期 (20年度) 20中計	増減額	増減率
日本	売上高	3,809	4,140	330	8.7%
	営業利益	262	290	27	10.7%
	率	6.9%	7.0%	-	-
アジア	売上高	1,407	1,730	322	22.9%
	営業利益	114	180	65	57.0%
	率	8.1%	10.4%	-	-
北米ほか	売上高	1,052	1,230	177	16.8%
	営業利益	29	70	40	137.6%
	率	2.8%	5.7%	-	-
合計	売上高	6,269	7,100	830	13.2%
	営業利益	406	540	133	33.0%
	率	6.5%	7.6%	-	-

### (3) 各事業の課題と取り組み(懸架ばね)

#### グローバル市場への対応と生産技術基盤の強化

#### 売上高・営業利益率の目標



#### 20中計での課題と取り組み

- ◆ 国内 : マザー工場としての機能発揮と市場縮小下での収益確保両立
- ◆ アジア : インドの市場拡大と中国の日系需要増加の確実な取り込み
- ◆ 米欧 : 収益力の確保と拡販、及び新拠点の安定操業
- ◆ 先端技術の早期実用化、拡販貢献
- ◆ グローバル営業力の強化と拡販推進

	17.3期(16年度) 実績	21.3期(20年度) 20中計
営業利益額	115	120

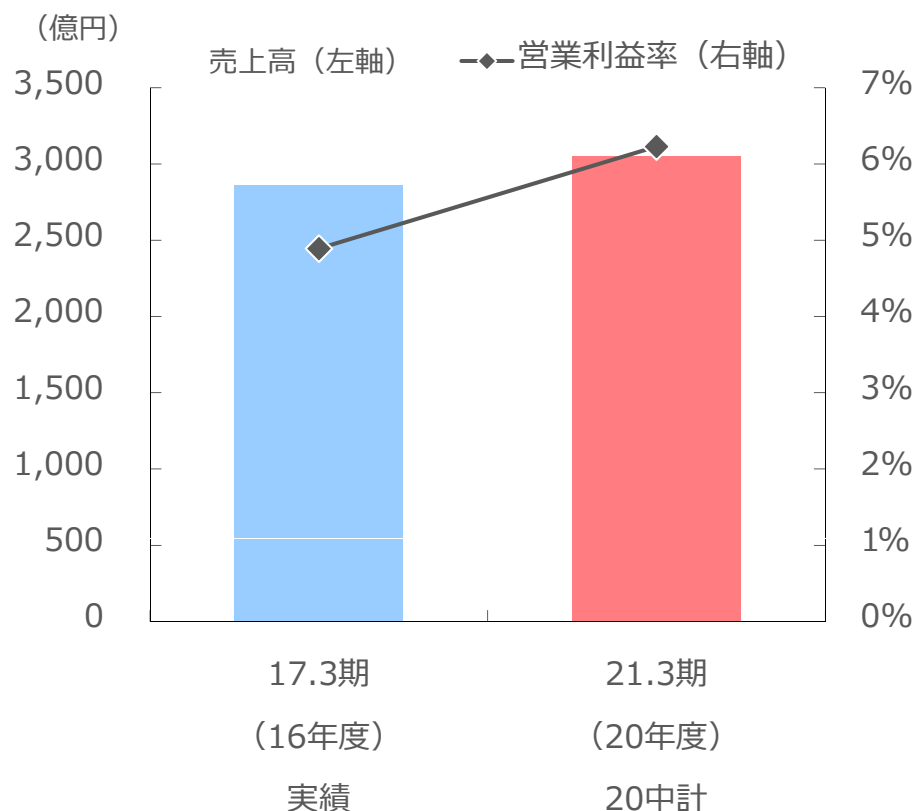
#### 売上・営業利益について

北米は新規連結会社の収益貢献、アジアはタイ市場の回復により増収増益を見込むが、国内は生産技術深耕の為の投資など固定費増により増収減益となり、全体としての営業利益率は低下する。

### (3) 各事業の課題と取り組み(シート)

#### グローバルでの事業拡大(新規受注の獲得)

#### 売上高・営業利益率の目標



#### 20中計での課題と取り組み

- ◆ モデルチェンジへの着実な対応
- ◆ 国内外での新規拡販
- ◆ 国内工場の収益力向上と、海外工場の収益貢献の早期化
- ◆ グローバル開発・設計・調達・供給体制の構築
- ◆ 軽量化・自動化技術を柱とした国内外拠点での新規拡販

	17.3期(16年度) 実績	21.3期(20年度) 20中計
営業利益額	139	190

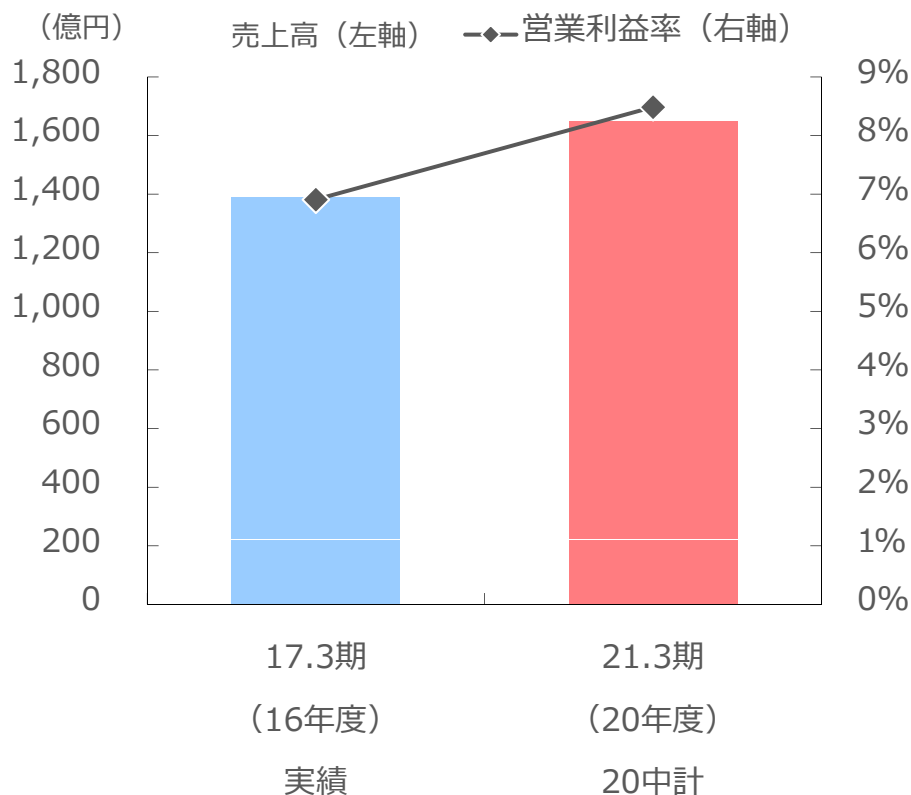
#### 売上・営業利益について

後継車種の確実な受注と新規受注の獲得により、増収増益とする計画。国内外ともに一層の原価低減に  
取り組み、台数増を増益につなげる。

### (3) 各事業の課題と取り組み(精密部品)

#### グローバルでの最適拠点体制の確立と収益力の向上

#### 売上高・営業利益率の目標



#### 20中計での課題と取り組み

- ◆ 自動車向け線ばねの需要増対応
- ◆ 自動化・省人化による収益改善
- ◆ 生産拠点の移管・集約を含めた最適化の推進
- ◆ HDD業界動向の注視及び拡販
- ◆ 高品質・低コストの両立によるHDD数量減の下でのシェアアップ
- ◆ 製品・生産技術の先行開発とスピードアップ

	17.3期(16年度)実績	21.3期(20年度)20中計
営業利益額	96	140

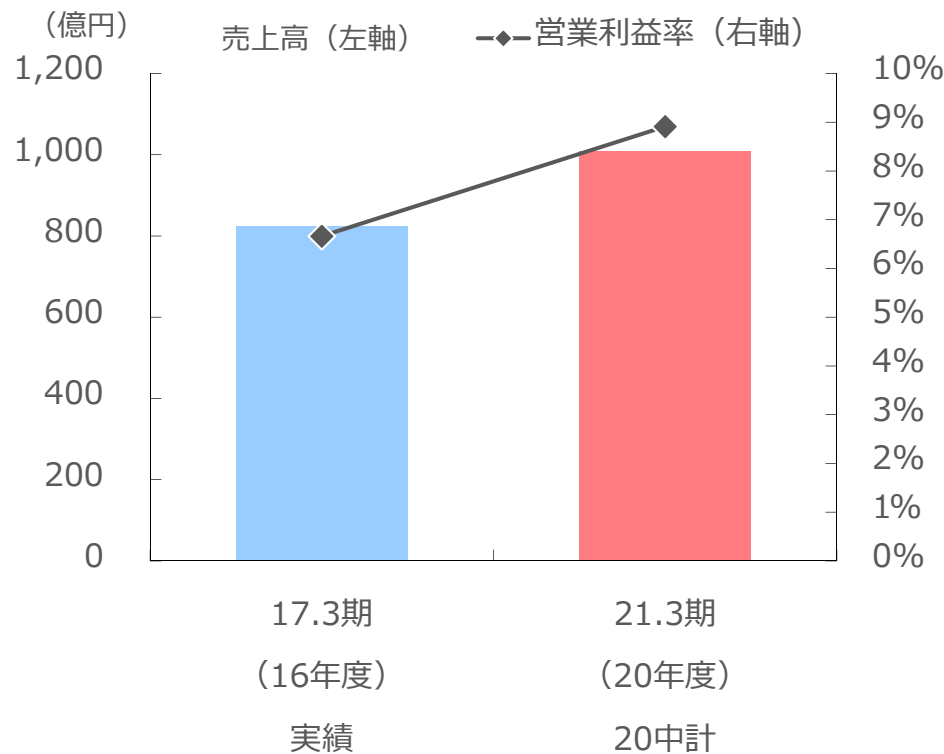
#### 売上・営業利益について

自動車向けは国内海外での売上増や開発品の新規拡販により増収増益、情報通信関連はHDD数量減の影響はあるが、サスペンションのシェアアップと固定費抑制により利益を確保する。

### (3) 各事業の課題と取り組み(産業機器ほか)

新規品の上市と成長市場での売上拡大

売上高・営業利益率の目標



#### 売上・営業利益について

半導体用の冷却板については、積極的な設備投資により試作・量産能力を確保しつつ、増益を実現する計画。それぞれの事業の採算性改善と新商品の市場投入により、増収増益を目指す。

#### 20中計での課題と取り組み

- ◆ 好調な半導体市況への着実な対応
- ◆ 車載向けなど基板事業の拡大と収益力の向上
- ◆ 国内のメンテ・解析業務取り込み及び、海外の新設事業への対応(配管)
- ◆ セキュリティ分野における新規分野への参入
- ◆ 各開発テーマのスピードアップと新製品の拡販

	17.3期(16年度) 実績	21.3期(20年度) 20中計
営業利益額	54	90

#### (4) その他

#### 設備投資・減価償却費

		(億円)				
		17.3期 (16年度) 実績	18.3期 (17年度) 計画	19.3期 (18年度) 20中計	20.3期 (19年度) 20中計	21.3期 (20年度) 20中計
設備投資	国内	165	219	277	166	122
	海外	91	114	196	90	66
	合計	256	334	474	256	188
	非連結	58	27	16	13	8
	合計	315	361	491	270	197
減価償却費	国内	128	149	175	181	174
	海外	103	101	93	102	105
	合計	231	251	269	283	279

18.3期から21.3期の4カ年合計で約1,319億円の設備投資を計画し、約1,082億円の減価償却費の発生を見込んでいる。

ご清聴ありがとうございました。  
引き続き、2020中計の達成へ向けて  
全力を傾注してまいります。

# NHKニッパツ

- 本資料に記載している日本発条(株)の予想、計画は、将来の実績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場動向、為替の動向等、重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果となり得ることもご承知下さい。
- 本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- この資料の著作権は日本発条(株)に帰属しております。  
無断転載・複製することを禁じます。

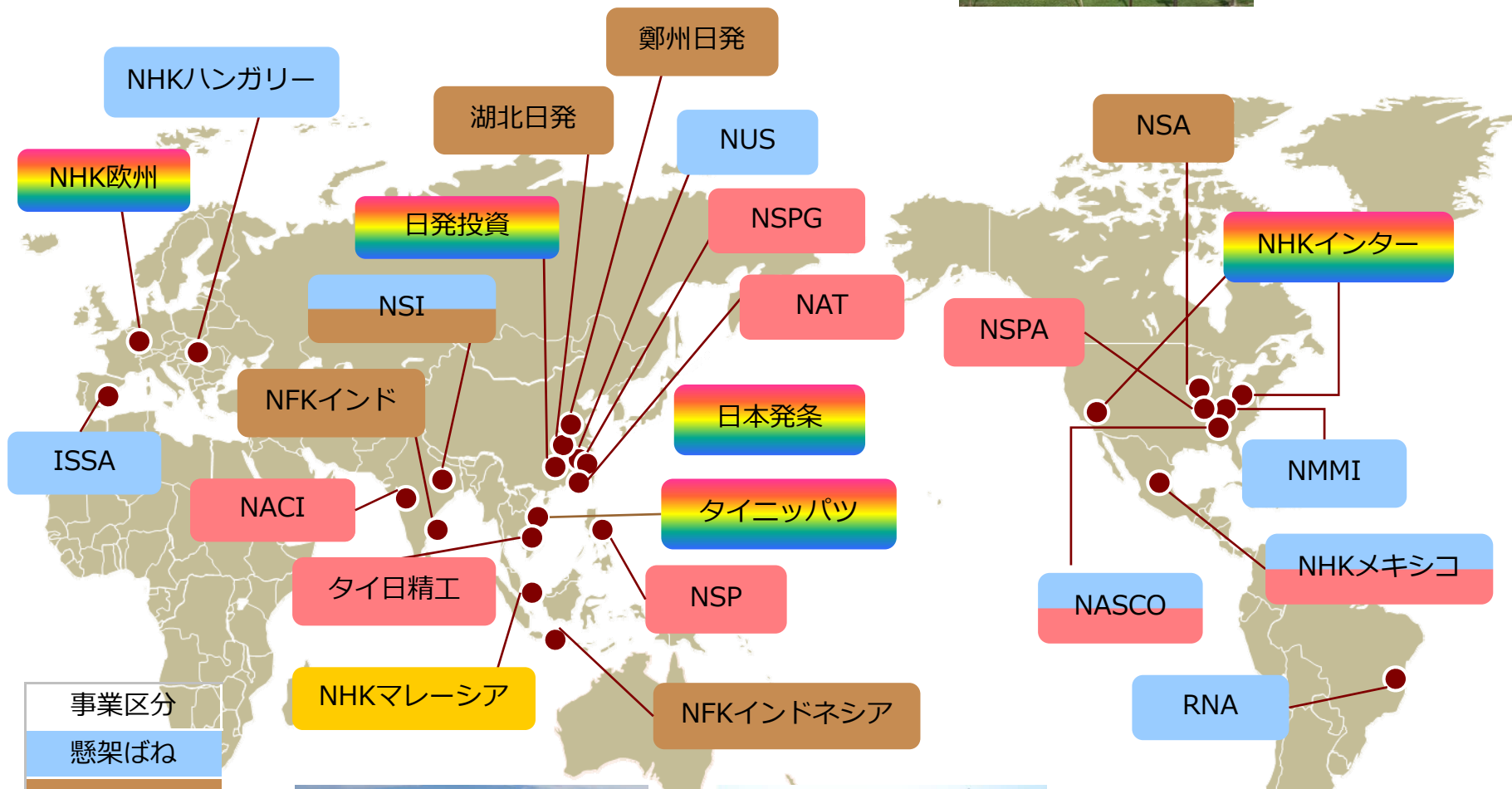


# 補足資料

# 補足資料：海外展開の状況 主要海外拠点



**NHKニッパツ**  
日本発条株式会社



事業区分
懸架ばね
シート
精密部品
産業機器ほか
全製品



## 補足資料 よくある質問と回答①

Q:主要カーメーカーへの売上比率は？

A:17年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	16.3期 (2015年度) 実績	17.3期 (2016年度) 実績
日産グループ	18%	19%
富士重グループ	15%	16%
トヨタグループ	15%	14%
いすゞグループ	6%	6%
ホンダグループ	4%	4%
スズキグループ	4%	4%
三菱グループ	2%	2%
マツダグループ	2%	2%
上位3社	48%	49%
その他	52%	51%

[注]比率は総売上高に対する割合

補足資料  
よくある質問と回答②

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2016年実績、2017年実績は下表のとおり。

（単位：百万個）

暦年ベース	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	136	145	281	172	177	348	629
<日本>	60	57	117	65	64	129	246
<中国>	37	31	68	42	48	90	158
<タイ>	40	56	96	64	65	129	225
2017年実績	174	—	—	—	—	—	—
<日本>	65	—	—	—	—	—	—
<中国>	44	—	—	—	—	—	—
<タイ>	65	—	—	—	—	—	—

決算ベース	F Q 1	F Q 2	上期	F Q 3	F Q 4	下期	通期
2016年実績	134	152	286	171	177	348	634
<日本>	57	65	122	64	65	129	251
<中国>	37	31	68	42	48	90	158
<タイ>	40	56	96	64	65	129	225
2017年実績	—	—	—	—	—	—	—
<日本>	—	—	—	—	—	—	—
<中国>	44	—	—	—	—	—	—
<タイ>	65	—	—	—	—	—	—

## 補足資料：よくある質問と回答③ HDD関連の状況

### HDD台数(百万台)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	101	99	199	114	111	225	424
2017年実績	99	—	—	—	—	—	—

### サスペンション総需要(百万個)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	399	438	837	471	487	959	1,795
2017年実績	447	—	—	—	—	—	—

### サスペンションカウント (個)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	3.97	4.45	4.21	4.15	4.37	4.26	4.23
2017年実績	4.51	—	—	—	—	—	—

### NHK数量(百万個)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	136	145	281	172	177	348	629

### NHKシェア(%)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2016年実績	34.3	33.1	33.6	36.4	36.0	36.3	35.0

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。